

身近な自然を、 豊かな学びの場に

ネイチャーゲームのリーダー養成講座
を開催—五感を研ぎ澄ますプログラム

8月4日～8月5日
於エコポリスセンター

気まぐれな天気の中で… 雨が降ったりやんだり、様々な自然の変化を感じながら、2日間の日程でネイチャーゲームのリーダー養成講座を開催しました。講師であるネイチャーゲーム協会の峰岸さんのもと、センスオブアースの授業スタッフなど8名が受講。ジョセフ・コーネル氏が提唱したネイチャーゲームの考え方を学び、参加者同士の緊張をほぐしたり実際に自然と触れ合ったりするアクティビティなどを体験しました。

受講者の皆さんから◎日本女子大学 松田尚子さん◎

8月4日、5日とネイチャーゲーム講習会に参加しました。講習会で様々なアクティビティを体験しました。普段、自然に目を向ける機会がありませんでした。講習会を通して、木の幹のごつごつとした感じや、風にそよぐ緑など今まで気づかなかった自然の表情を感じることができました。わたしは、小学校の教員を目指しています。将来は、この経験を活かして子ども達に自然の大切さを伝えていきたいと思います。その為にも、自然に目を向けるように心掛けて生活していきたいです。(2ページへ続く)



● SOE 環境教育出張授業・保育園編
6月14日◎板橋区立若木保育園5歳児

いもむしのたからぶくろ

いもむしの子になって、いもむし母さんを助けたよ!
保育園年長組の子ども達が、
身近な自然を相手に活発に活動。

公園の風や、鳥・葉っぱ・木の幹・花のにおいを、集め、
病気のお母さんを助けようと五感を働かせて生き生きと活動し
ました。(3ページへ続く)





◎日本女子大学 井上美聡さん◎

私の最も印象に残った実践は、計画書まで作成して臨んだ「わたしの木」です。パートナーと一本の木をプレゼントし合い、木への親しみを深めました。目隠しをして感覚を研ぎ澄ませながら木を味わい、再び木に会いに行くことを通し、木にも個性があるのだと気づき、その木と友達になれた気がしました。自然や参加者との分かち合いなど魅力に溢れた経験を自然案内人として活かしていきたいと思います。

◎東京学芸大学大学院 伊藤宗彦さん◎

ネイチャーゲームは指導者の立場で小学校の出前授業で実践していましたが、この機会に勉強し直すことができました。何事も傍から見ているのと、実際にやってみるのでは大違い。改めて子どもの頭の柔軟さに驚きを感じました。ネイチャーゲームは学校のささやかな自然でも子どもたちが普段は気づかない世界を気づかせてくれます。今後も、様々な小学校でネイチャーゲームを実践していきたいと思います。

◎東京家政大学 増田佳奈美さん◎

ネイチャーゲーム指導員の講座を受けることによって、普段自分が見過ぎていた身近な自然に目を向ける機会ができたことが私の中で大きな発見でした。身近な自然に気づき、感動できる機会を他の人たちにも味わってもらいたいとも感じました。

◎日本女子大学 M・Mさん◎

『わたしの木』というアクティビティでは、パートナーに目隠しをして自分のお気に入りの木を紹介しました。木を選ぶ時、木の形や大きさが1本1本違っていることに改めて気づかされ、自然への愛着がもてました。私は小学校の教師を目指していますが、教師になってからもネイチャーゲームで学んだことを生かして子どもたちと自然との一体感を味わう活動をたくさん取り入れていきたいと感じています。



(1 ページ下段落からの続き)

5 歳児担任 野村先生より

- 戸外での活動はのびのびと参加できた。 ○身近な題材で良かった。
- はじめにゲームを取り入れたことで和気あいあいと楽しい雰囲気自然とかかわりができていた。
- 普段改めて目を向けることがないものに目を向け、興味を持って参加していたように感じる。
- 7人のスタッフが来てくださり、子どもたちはいろいろと経験させていただき私たちも勉強になりました。ありがとうございました。

◎板橋区立若木保育園5歳児



園長先生より 大変お世話になりました。職員からの報告を聞いて、たくさんのスタッフにお世話になったとのことでありありがとうございました。子どもたちも、コウモリのゲームも楽しかったと目を輝かせています。

SOEの農園日記

地産地消への挑戦



私たちセンスオブアースは、地産地消に挑戦しようと思い、この春、区民農園を借りることにした。1区画 4m 四方の畑である。以下、簡単な農園日記である。

4月30日◎腐葉土と肥料を混ぜて畑を耕し、7本の畝を作る。

キュウリ、トマト、ナス、大豆（枝豆）の苗を10本ずつ、それぞれの畝に植えた。苗は練馬区の農協から購入したもの。時期が遅かったのでジャガイモの種イモがなく、スーパーからジャガイモ（男爵）を10個購入し、半分に切り灰を付けて、土の中に埋めた。（3畝）

5月9日◎キュウリの苗1本、新しいのに植えかえる。トマト、ナスに花が咲き始めた。

5月15日◎小さいキュウリが育ってきた。ジャガイモはまだ芽が出ない。

5月19日◎キュウリ用の網を購入して取り付け。一人ではなかなかうまくいかず苦労した。

5月20日◎ジャガイモに小さな芽が出始めた。まだ、3、4か所だけでほとんど芽が出ていない。そこで、「北あかり」の苗を5本植えた。

5月26日◎ジャガイモの葉も出そろった。周りの畑ではジャガイモの花盛りというのに、やっど、葉がでそろったところ。1カ月から1カ月半遅れている。

6月5日◎NHK広場でエコパークがあり、朝収穫したキュウリを何本か持っていき、スタッフで食べる。

6月15日◎トマトの実が赤くなり始める。

6月25日◎蓮二小のピオトープ10周年記念式典の打ち上げの時、出席したメンバーにとれたばかりの枝豆を試食してもらおう。とびきりおいしかったとの感想が出る。

7月4日◎日本女子大の出前授業の日、朝どりのトマトをスタッフで食べる。

8月1日◎ジャガイモの葉も枯れ、いつ、芋掘りをしてもよい状態。

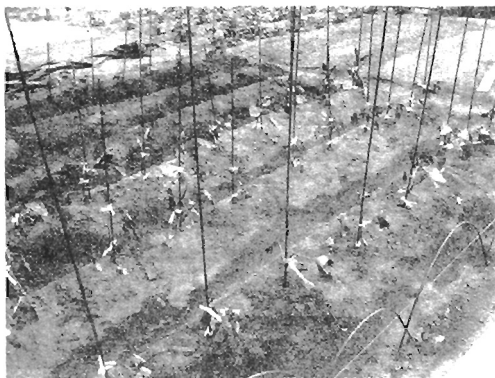
8月8日◎1日、日に干しておくとおいしくなると言うので、明日の収穫祭のカレー用にするためジャガイモ1畝だけ掘り起こす。おいしそうなジャガイモが出来ていた。

8月9日◎ジャガイモの収穫祭。炎天下の中、学生3人を含む5人で掘り起こす。中にはびっくりするほど大きいのもあった。思ったよりたくさんとれた。20kgはあったと思う。夕方、早速、寺田家で昨日とった芋をカレーにして試食する。今日とった芋は、ポテトサラダにして試食する。満足する味であった。



—後記—

- (○)毎朝夕、畑に行って水やりをした。(雨が降った時以外)
 - (○)キュウリは良くできた。
 - (○)1畝に10本の苗は多すぎた。もっと間隔をあけた方がよい。
 - (○)枝豆の害虫駆除の仕方やキュウリ、トマト、ナスの脇芽の摘み方に研究の余地あり
 - (○)今、畑を休ませておき、8月から9月にかけて、ダイコン、ニンジン、ブロッコリーなどの秋植えの野菜を植える予定である。
- (文責 SOE 柳 栄吉)



● S.O.E. 活動報告 (2011年7・8月)

日	曜	内 容
7月		
4	月	日本女子大学「生涯学習計画」において環境教育授業「旬の野菜を調べよう」出張授業実施
5	火	SOE教職採用試験対策講座
7	木	三園小2年生「わたしたちの気に入った木を見てくたさい。」実施 SOE教職採用試験対策講座
10	日	SOE教職採用試験対策講座・SOE7月号「コース発行作業
21	木	板橋区エコホリスセンター「夏休み子どもエコ工作教室 「クラフト工作、種を作って飛ばそう」「自然でしおりを作ろう」企画実施
22	金	同上
24	日	ワークショップ「保育園用」プログラムの開発・ホームページの更新
26	火	板橋区「保護者向け講演会「いのちをみつめるビオトープ作り」寺田 板橋区環境教育プログラム部会出席提案「ベストホルルの水」 「いもおしのふからぶくら」「コウネリとカ」
28	木	第7回沖縄エコツアーの実施企画書・しおり作成発送
8月		
2	火	SOE教職採用試験対策講座
4	木	SOE主催2011年度「ネイチャーゲーム指導者講習会」2日 1問実施
5	金	同上 SOE理事「日本女子大学教授 田中雅文氏 「ボランティア活動とおとなの学び」出版を祝う会企画実施
8	月	東京都教員採用一次試験合格発表に関する支援
9	火	SOE教職採用二次試験対策講座・SOE農園初収穫と収穫祭実施
12	金	SOE教職採用二次試験対策講座
13	土	板橋区立中台中自然科学部「収穫祭協働参加
16	火	SOE教職採用二次試験対策講座
18	木	SOE教職採用二次試験対策講座 板橋区環境教育プログラム部会参加提案 「わたしはだれでしょう1・2 フクロウとカラス」
28	日	ワークショップ「4つのプログラム検討確認 「旬の野菜を調べよう」の学習カード作り



田中雅文氏 出版を祝う会



SOE教職採用試験対策講座

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生バンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp